

14

・ 指数関数を含む関数の最大・最小

(例1) 関数 $y = 4^x - 2^{x+1} - 1$ ($x \leq 2$) の最大値と最小値を求めよ。

また、そのときの x の値を求めよ。

point

$a^x = t$ とおきなえ

→ おきなえた文字の範囲に注意。

$$y = 4^x - 2^{x+1} - 1 = (2^x)^2 - 2 \cdot 2^x - 1$$

ここで、 $2^x = t$ とおくと、 $x \leq 2$ より

$$0 < t \leq 4$$

y は

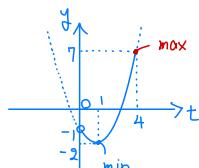
$$y = t^2 - 2t - 1 = (t-1)^2 - 2$$

と表せる。

ゆえに

$t = 4$ のとき最大値 7

$t = 1$ のとき最小値 -2



$2^x = t$ であるから

$x = 2$ のとき最大値 7

$x = 0$ のとき最小値 -2 //

(例2) 関数 $y = 4^x + 4^{-x} - (2^x + 2^{-x})$ の最小値を求めよ。

また、そのときの x の値を求めよ。

point

$a^x + a^{-x} = t$ とおきなえ

→ おきなえた文字の範囲に注意

$$y = 4^x + 4^{-x} - (2^x + 2^{-x})$$

$$= (2^x)^2 + (2^{-x})^2 - (2^x + 2^{-x})$$

$$= (2^x + 2^{-x})^2 - 2 \cdot 2^x \cdot 2^{-x} - (2^x + 2^{-x}) \quad \text{+ } x^2 + y^2 = (x+y)^2 - 2xy$$

$$= (2^x + 2^{-x})^2 - (2^x + 2^{-x}) - 2$$

ここで、 $2^x + 2^{-x} = t$ とおくと、 $2^x > 0$, $2^{-x} > 0$ であるから

$$2^x + 2^{-x} \geq 2\sqrt{2^x \cdot 2^{-x}} \quad \text{+ 相加・相乗平均}$$

$$= 2$$

よって

$$t \geq 2$$

また、等号は

$$2^x = 2^{-x} \quad \text{つまり} \quad x = 0$$

のとき成り立つ。

y は

$$y = t^2 - t - 2 = (t - \frac{1}{2})^2 - \frac{9}{4}$$

と表せる。

ゆえに

$t = 2$ のとき最小値 0

したがって

$x = 0$ のとき最小値 0 //

